

夏だ！ キャンプだ！ オリエンだ！

才教学園サマーキャンプ 2007 年 6 月 7 日 長野県塩尻市

木村佳司

夏、学校行事は野外キャンプのシーズン。オリエンテーリングは子供たちの冒険心をくすぐる。

2007 年 6 月 7 日
長野県塩尻市林業総合センター

キャンプの定番でしょ

夏の林間学校でオリエンテーリングを体験する・・・20 年前はそれが定番だった。だが今となってはオリエンテーリングを指導できる先生たちがいなくなり、こうした体験ができる小中学生が少なくなっている。

長野県松本市にある私立小中学校「才教学園」のサマーキャンプで私・木村が出張オリエンテーリングを行った。小学校 4 年生、5 年生、中学校 1 年生あわせて約 60 名の小規模な学校キャンプ。だが野外活動を行うには適正人数だ。ほぼ全員に先生の監視の目が行き届く。

それでも先生がたは、オリエンテーリング後の炊事やキャンプファイヤーの準備があり、なかなかオリエンテ

リングの運営まで手が回らないのが実情。やはり専任の指導員が現場に居ないと始まらない。



統制が取れたキャンプと指導

森に響く歓声

キャンプ場を中心に 60 分のスコア 0。キャンプのグループごとに回ってもらう。上級生が下級生を指導するように班分けされているので運営側も安心できる。

10 分間の作戦タイム。生徒たちはスタートが待ちきれない様子。全員でカウントダウンの合唱が始まり、「ゼロ」とともに子供たちは蜘蛛の子を散らすように一斉に森の中へと走り去っていった。子供たちの野生が解き放たれた瞬間だった。誰も走れとは言っていないのに。

すべて道を通して回れるコントロールのはずが、森をわざわざ直進しているグループもいる。いつもは静かなはずのキャンプ場周辺も、この時ばかりは子供たちの歓声があちらこちらから聞こえていた。

キラキラの新緑の中、運営している私たちにも生徒たちの楽しさが伝わってきた。

アナログ地図

キャンプ場の周辺には O-map はなかった。なければ作るまで。市役所に行くと都市計画図を売っている。これを縮小コピーしてそのまま使った。都市計画図には遊歩道が描かれていなかったが、事前に 3 時間ほど地図調査して、遊歩道を書き入れた。

地図はモノクロコピー。今回はすべてアナログ式で地図作成を行った。

これには意図がある。デジタルの専門知識が無くても、先生がたやキャンプ場関係者にキャンプに使える程度のオリエンテーリング地図を作ることができることを示したかった。これにより先生方がどこかのキャンプで自主的にオリエンテーリングを実施してくれるかもしれないという希望があった。

コンパスを使わない

ナビゲーションに地図は必要だが、コンパスは補助具に過ぎない。周囲が畑と道路に囲まれた森であること、片斜面の地形であることをしっかり伝えて、今回コンパス無しで実施した。

学校でいざオリエンテーリングをやるうとしてもコンパスを用意することが難しい。コンパスなしでも競技できることを関係者に示した。子供たちもコンパスなしで普通に競技していた。

クレヨンチェック

生徒や先生が使い慣れたクレヨンを使用した。学校で自主的にオリエンテーリングを行うときに一番やり易い方法を見せたつもりだ。

ピンパンチや E-card を使用すると、その使用方法の徹底に時間がかかる。それだけではない。特殊器具を使うことはそれだけでオリエンテーリング運営の敷居を高くしているのだ。

(木村佳司)

